

第5弾

# 市民の暮らしを支える 新型コロナウイルス感染症への緊急対応策

補正予算額

(一般会計) 156,823千円  
 財源内訳：県支出金 : 77,760千円  
 一般財源 : 79,063千円



## 緊急対応策(第5弾)の概要

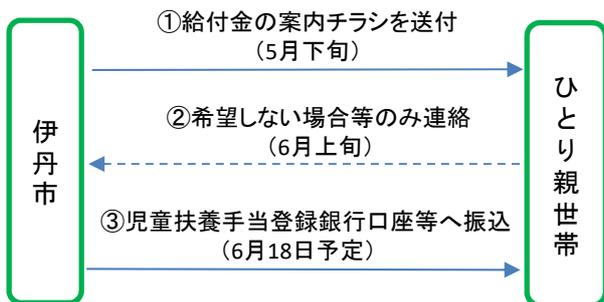
新型コロナウイルス感染症への対応の長期化により、市民の皆さまの暮らしに深刻な影響をもたらしています。引き続き、感染拡大の防止や市民の生活を支える取り組みを進めます。  
 ※これらの事業に必要な予算は、専決処分(5月20日)により措置しました。

市独自

### 児童扶養手当受給者に対する支援給付金 【事業費 72,013千円】

ひとり親世帯の生活を支援する取り組みの一つとして、児童扶養手当の受給者に対し、支援給付金を支給します。

- 対象者  
本市から令和2年4月分の児童扶養手当を受給している者(※全部停止の者を除く)
- 支給金額  
5万円
- 申請及び支給予定  
申請不要で、6月18日に支給



市独自

### 4か月児健診の個別健診化 【事業費 7,050千円】

延期している4か月児健診を、受診者の安全を確保した上で早期に再開するため、伊丹市医師会の協力のもと、個別の医療機関において実施します。

- 令和2年度における4か月児健診への対応  
4か月児健診は実施できる月齢が短く、短期間で多数の受診者に対応する必要があるため、個別の医療機関で健診できる環境を整備します。  
【変更前】保健センターにて集団健診(2回/月)  
【変更後】事業受託医師の医療機関にて個別健診
- 対象者
  - ・令和2年3～5月までに受診できなかった対象児
  - ・4か月～5か月の乳児
- 実施開始予定  
6月1日より



その他

### AIチャットボットを活用した 情報提供サービス(試行運用)

パソコンやスマートフォンを利用して、新型コロナウイルス感染症に関する情報(感染予防や「特別定額給付金」をはじめとした支援策、学校園の休校などの情報)を、24時間いつでも簡単に入手できるよう、AIチャットボットの試行運用を5月20日から開始します。

今後、他の行政分野の試行運用も実施する予定です。



※R2年度既決予算事業

【試行運用QRコード】

### 介護施設等における感染拡大防止対策 【事業費 77,760千円】

入所系の介護施設等において、居室からウイルスが外に漏れないように、簡易陰圧装置や換気設備を整備するための費用を補助します。

